

外務省前で抗議する「北朝鮮に拉致された日本人を救出する地方議員の会・日本世論の会」のメンバー
＝3日午後1時33分、東京都港区



地方議員の会」抗議

田中審議官らの 辞職勧告を提出

「北朝鮮に拉致された日本人を救出する地方議員の会」(会長・土屋敬之・東京都議)は三日、外務省を訪れ、拉致問題など北朝鮮をめぐる一連の外務省の対応について、「明らかに国益を忘却したものであり、断じて看過することができない」とし、川口順子外相、田中均外務審議官、平松賢司北東アジア課長の三人に対して辞職勧告書を提出した。

これに先立ち、「地方議員の会」は、外務省前で支援者とともに「直ちに辞任しろ」「国民の財産と生命を守れ」とシュプレヒコールをあげるなど、抗議行動を行った。

地方議員の会が

北制裁へ要請書

「北朝鮮に拉致された日本人を救出する地方議員の会」(会長・土屋敬之・東京都議)の代表らが九日、首相官邸に安倍晋三官房副長官を訪ね、北朝鮮制裁を求めるとする法律の即時整備を求める小泉純一郎首相あての要請書を手渡した。要請書は、制裁こそが拉致事件の解決につながるとして、北朝鮮船舶の入港拒否や送金停止を可能とする法律、スパイ防止法などを速やかに整備することを求めている。安倍副長官は「首相に伝える」と回答した。土屋会長は「北朝鮮工作員は一万人とはいわれる。これを取り締まる法律を論議しなければ拉致の基本的解決にならない」と話した。